

資源リサイクルとしての 再生骨材コンクリートのパイオニア

株式会社京星

<http://www.concle.co.jp/>

大阪
21

Company Profile

株式会社京星

住 所 / 〒573-0112
枚方市尊延寺965
創 業 / 昭和38年8月
設 立 / 昭和47年7月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 30名
T E L / 072-858-0663
F A X / 072-858-4021

■主な事業内容
建設資材の製造・販売業

■主な取引先
土木建築会社、建設商社、生
コン製造会社、官公庁 等



京星のヘルメット：環境保全を表す「緑」と自然保護を表す「青」の2色の羽で、資源リサイクルへの姿勢を表現。



コンクリート塊の粉砕から 再生骨材コンクリート製造まで

国土交通省の調査によると、平成14年に古い建築物の解体や改装工事によって排出されたコンクリート塊は約三千五百万トン。リサイクル率は98%とされるが、ほとんどは再生路盤材や埋め立て用に使われ、コンクリート構造物への利用はわずか7%だった。そして、今もその排出量はあまり変わらないと言われ、道路整備事業なども減少する中で再生路盤材の消化もいづれ限界になると予測されている。

現在、建設副産物であるコンクリート塊の再資源化に取り組むのは、国内では三社だけ。その一角を担う京星は、半世紀近くにわたり天然骨材製造で培ったノウハウを活かし、水を利用した湿式磨砕工程と湿式浮遊比重選別工程を組み合わせた高度処理システムを独自開発。枚方市東部に拓いた約三万坪の敷地にプラントを設け、コンクリート塊の粉砕から再生路盤材やコンクリート原料となる再生骨材、再生コンクリートの製造まで

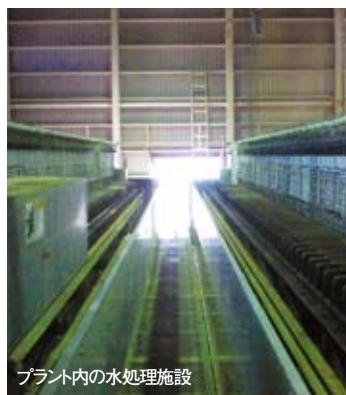
を一貫して行う資源リサイクル事業のバイオニアである。

湿式プラントを活用した 独自の高度処理システム

コンクリート廃棄物を未加工資源として安定した品質のコンクリート材料に再生させるには、天然骨材に付着したモルタル成分などを剥離させ精製する必要がある。再生骨材づくりの難点は、まさにその工程であり、同社は昭和58年にリサイクル事業部の企画開発室を発足し、第一次プラントを整備するまで実に7年もの歳月を費やした。そして、その3年後には全ラインを完成し、湿式プラントでモルタル分を剥離しながら磨砕、比重選別、洗浄を行う独自の製法技術を確立。ここで造り出した再生骨材を原料とし、日本工業規格に準じた同社のリサイクル生コンクリート「コンクル」は、建築基準法に基づき国土交通大臣認定（平成13年）をはじめ、エコマーク認定、大阪府リサイクル製品認定（平成17年）などを次々に取得。今後は、さらに技術を向

上させ、安定した高品質の細骨材や粗骨材の供給を図る一方、製法特許として各地の企業にもアピールし技術提供していく構えだ。

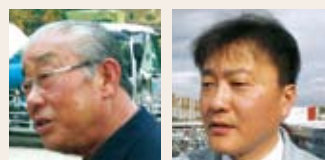
「現在、当社の製品は再生骨材が4割、天然骨材が6割です。環境保全に貢献する省資源循環型企業を目指すことが理想。リサイクル加工に伴う最終処分物の減量にも真剣に取り組みたい」と語る原大耕。近い将来、高度成長期に建てられた建造物が寿命を迎え、莫大なコンクリート塊の発生が予測される中で「コンクリートからコンクリートへ」と提唱する同社の企業価値は、ますます高まっていくに違いない。



プラント内の水処理施設

当社のセールスポイント

建設副産物についての
再資源化技術は、
京星におまかせください。



代表取締役社長 原 良さん
専務執行役員 原 大耕さん

鉱物資源の「土」に関する水洗浄化処理の技術と日本工業規格が定める品質規格を満足する加工製造技術を創業以来、長年にわたり積み重ねてきました。「人が造る。物を作る。心と創る」をモットーに技術開発と品質向上に努めております。環境負荷の低減につながる建設副産物の資源リサイクルに関して、ノウハウ（再資源化技術）は京星へお任せください。